

第2回伊豆半島風力発電フォーラム

風車による破壊から伊豆らしい自然や暮らしを守るために

2010年1月18日に「第2回伊豆半島風力発電フォーラムーエコの名を借りた開発を問う」が下田で開催されました。50人以上の参加者が集まり、風車もたらしている健康被害、伊豆の生態系の保護、自然や景観を活用した地域振興について意見を交換しました。

17日には旅ジャーナリスト会議のメンバーが風力発電の視察で伊豆を訪れました。一行は21基の風車が建設される河津町・三筋山や事故で停止中の東伊豆町・熱川天目の10基の風車を細野高原から眺望し、17基の風車が試運転中の南伊豆町・石廊崎を見学しました。



フォーラムでは、東伊豆町の覚張敏子さんが各地の健康被害の実態を報告し、めんだっこスクール代表の浜野秀保さんが動植物・鳥・蝶が織りなす伊豆の生態系が風車によって破壊されると警鐘を鳴らし、伊豆山並み景観研究会代表の齊藤俊仁さんが自然を活かした



地域振興の例として川勝平太・静岡県知事が提唱するジオパーク構想を紹介、旅ジャーナリスト会議のメンバーらは国立公園である伊豆半島はそこに住む人だけのものではないと、旅人ならではの強力なメッセージを発信しました。